

Green Go Wireless Beltpack

model nr. GGO-WBPX



Green Goネットワーク上のすべてのステーションに接続できるポータブルステーションです。
 Wireless Beltpackは、Green Goアンテナ（WAA）経由で接続し、DECT準拠します。
 Green Goネットワークの他のすべてのステーションと同様に、ベルトパックには、システムを構成するコンフィグレーションファイルが含まれています。
 コンフィグレーションファイルの詳細については、「コンフィグ使用方法」を参照してください。

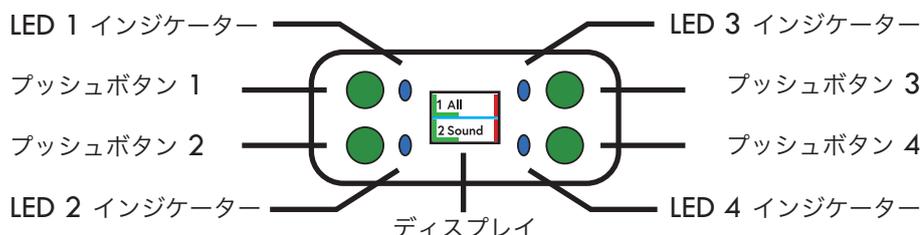
Whats in the box: ワイヤレスベルトパック + 1800 mAh リチウムイオンバッテリー + miniUSB-USB ケーブル + USB チャージャー

目次

概要.....	Page 02
基本的な機能説明.....	Page 03
使用方法/バッテリー設置、メニュー、ユーザー設定.....	Page 03
使用方法/クローン、コンフィグ、アサイン、ペアリング.....	Page 04
使用方法/UI、カラー、プッシュボタン、拡張ビュー.....	Page 05
使用方法/ローミング、スタンドアロン、ボリューム、他.....	Page 06
リファレンス.....	Page 07
設定方法.....	Page 10
トラブルシューティング.....	Page 14
仕様.....	Page 14

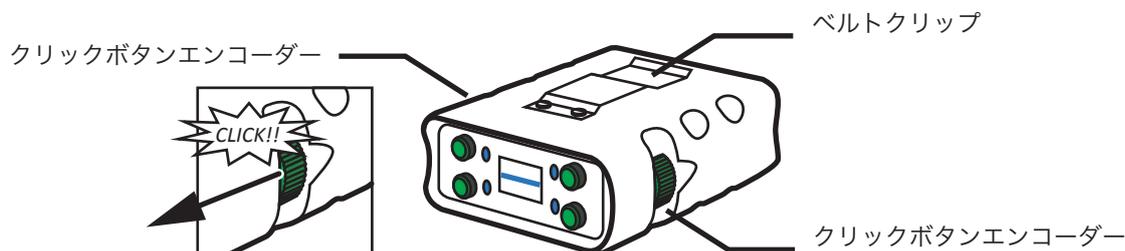
概要

前面



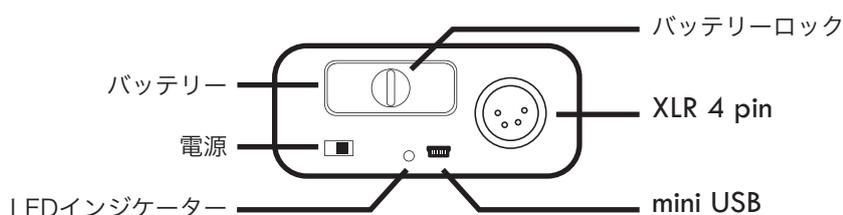
- LED インジケータ 1-4:** プッシュボタンのアクティビティを示します。
プッシュボタン 1-4: プッシュボタンは、トークやコールなどの通信機能に使用され、エンコーダーと組み合わせて使用されます。
ディスプレイ: フルカラーOLED高解像度ディスプレイは、テキスト情報、キュー信号を提供し、4つのボタンの機能を示します。

サイド + ボタン



- クリックボタンエンコーダー:** メニューを移動するときにスクロールと選択に使用されます。ボリュームやチャンネル選択などの機能も制御します。左右にそれぞれ1つずつ、右手と左手の両方のユーザーの操作が簡単です。
ベルトクリップ: ベルトパックの取り付けが簡単です。

裏面



- バッテリー:** リチウムイオン電池GGO-NGRPとの簡単な交換可能
mini USB コネクター: バッテリーとPC / MAC接続の充電に使用
電源: オン/オフはスライドしてください。強制再接続設定が有効な場合も使用します。
LED インジケータ: バッテリー充電インジケータ。充電すると赤色になります。
XLR-4 pin: ヘッドセット接続用

基本的な機能説明

- ペアリング** - Beltpackをアンテナに接続するには、2つをペアにする必要があります。ベルトパックは、最大4本のアンテナとペアにすることができます。最大4つのベルトパックを1つのアンテナに登録することができますが、最大6つのベルトパックのペアリングを記憶できます。
- コンフィグレーションファイル** - コンフィグファイルは、ユーザー、グループおよびそれらの相互作用に関する情報を含むシステムを構成します。ベルトパックがネットワーク上の他のGreen Goデバイスと通信するには、同じ設定ファイルをロードする必要があります。設定ファイルは、別のデバイスからロード/クローン化することができます。工場出荷時のデフォルトファイルを選択することも、Green Go Controlソフトウェアでカスタム設定ファイルを作成することもできます。コンフィグファイルは、スイッチ以外のすべてのユニットに含まれています。
- クローンコンフィグ** - コンフィグファイルは、ネットワーク上のファイルを含む別のGreen Goデバイスから複製できます。
- ユーザーセレクション** - ベルトパックは、あらかじめ決められたユーザープロファイルを使用するように設定できます。これらのユーザープロファイルのルールは、コンフィグファイルで決められています。
- チャンネルアサイン** - ベルトパックには32のチャンネルがあります。ユーザーまたはユーザーグループとトークやコールするには、使用可能なチャンネルの1つにアサインする必要があります。
 - トーク** - Beltpackの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループとトークできます。
 - コール** - Beltpackの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループをコールします。
 - アンサー** - 呼び出しに対応します。
 - アラート** - Beltpackの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループに、ビジュアルおよびオーディオのアラート信号を送信します。
- ボリューム調整** - ボリュームの調整は、メインボリュームと個々のチャンネルボリュームの両方に対して行うことができます。
- ローミング** - Beltpackは、より良い信号を得るために、別のペアのアンテナを検索（ローミング）して接続するように設定できます。これには、ローミング機能が有効になっている必要があります。この設定では、自動ローミングと強制再接続の両方が可能です。
- エンコーダー機能アサイン** - ベルトパックの両側にあるクリック可能なエンコーダーホイールは、デフォルトのメインボリュームを制御しますが、サイドトーンまたはプログラムボリュームを設定できます。
- スタンドアローン** - 他のイーサネットデバイスに接続されていない状態での動作をスタンドアローン動作といいます。スタンドアローンのGreen Goセットアップを作成するために、最大4つのベルトパックを1つのアンテナで相互に接続することができます。

使用方法

バッテリー取付方法

バッテリーをバッテリー差込口に押し込み、1/4回転右に回しロックします。

バッテリーチャージ

バッテリーは充電されていますが、使用前に4時間充電することをおすすめします。

バッテリーは、miniUSBコネクタまたはGreen Go 6個口充電器GGO-BC6経由で充電できます。

USB経由で充電する場合は、正しく充電するために、USBポートではなく付属の充電器を使用することをお勧めします。

ベルトパックのオン/オフ

スライダーを横に動かして2秒間保持します。ベルトパックをオンにします。

スライダーを横に動かして3秒間保持する。ベルトパックをオフにします。

セットアップメニュー

セットアップメニューに入るには、両方のエンコーダーを同時にディスプレイの方向に引いてクリックします。この方法は、セットアップメニューを素早く終了する方法としても機能します。

セットアップメニュー使用方法

エンコーダーを使用してスクロールします。エンコーダーまたは4つのプッシュボタンの1つをクリックして選択/入力します。Cancel/Exitをクリックしてメニューを終了します。

ユーザー設定

セットアップメニューに入ります。「Set User」までスクロールします。「Enter」をクリックします。目的のユーザーにスクロールして「Enter」をクリックします。

チャンネルアサイン

ユーザーまたはグループは、32の使用可能なチャンネルのいずれかにアサインすることができます。セットアップメニューから「Channel Assignment」までスクロールし、「Enter」をクリックします。グループまたはユーザーをアサインするチャンネルまでスクロールし、「Enter」をクリックします。IDまでスクロールして「Enter」をクリックします。グループ、ユーザーまたは、なしなどアサインしたい項目までスクロールし、「Enter」をクリックします。使用可能なグループまたはユーザーのリストが表示されます。目的のグループまたはユーザーにスクロールし、「Enter」をクリックします。

クローンコンフィグファイル

セットアップメニューから「Clone Config」にスクロールします。「Enter」をクリックし、スクロールして目的のコンフィグファイルを選択します。工場出荷時のコンフィグファイルはリストの最後にあります。「Enter」をクリックしてコンフィグファイルを読み込みます。

ベルトパックとアンテナをペアリングするには：

アンテナ 背面



- アンテナの背面にあるプッシュボタンを2秒間押し続けます。ステータスLEDが赤く点滅し始めます。アンテナは3分間またはペアリングが完了するまでペアリングモードになります。
- ベルトパックでSetup Menu / Connection /に行き、アンテナのペアリングに使用するスロットまでスクロールします。
 - 使用するスロットがすでに使用されている場合は、スロットをクリックしてそのアンテナの登録を削除できます。
 - 「delete antenna」までスクロールしてください。
 - もう一度クリックしてください。
 - 「Delete」と表示されアンテナ登録が削除されます。
- 次にスロットをクリックします。
- Start pairingまでスクロールします。
- Start pairingをクリックします。
- Registering 登録中と表示されます。
- 登録が完了すると「Registered」と表示され、アンテナがそのスロットに表示されます。
- ディスプレイがスロットを更新するまで数秒かかることがあります。

7番目のベルトパックとアンテナをペアリングすると、6番目のスロットでペアになったベルトパックが変更されます。これは、Green Go Update Connectionソフトウェアを使用して再編成することができます。緊急時やオフ時のために追加ペアリング用に2つ分のスペースを残し、1つのアンテナに4つのベルトパックの登録することをおすすめします。

ペアリングのクリア

登録されたベルトパックをクリアするには、コンピュータをネットワークに接続し、Green-GO Update Connectionソフトウェアを実行する必要があります。

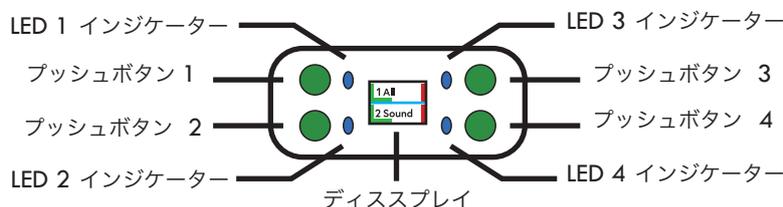
デバイスをスキャンし、アンテナを選択します。Properties section/Registered Packs/では、RF ID A～F フィールドの右側にあるフィールドに0を入力して、Enterキーを押し、登録を削除します。

ペアリングの削除確認が求められます。

また、アンテナで手動でクリアすることもできます。アンテナとのすべてのペアリングがクリアされます。

1. アンテナの背面にある赤い押しボタンを2秒間クリックします。
2. アンテナがペアリングモードに入り、インジケータLEDが赤く点滅し始めます。
3. 赤色の押しボタン押し続けます。（インジケータLEDが速く点滅し始めます）。
4. インジケータLEDの点滅が止まり、赤色に点灯するまで待ちます。アンテナ上のすべてのペアリングがクリアされます。

The UI



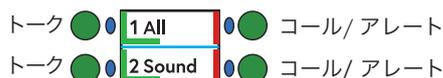
カラーコード

ディスプレイとインジケータLEDのカラーコードの意味

- 青色: 無効 ● 緑色: トークオン ● 黄色: 他で会話中
- 赤色: コール受信 ● 赤色点滅: アラートシグナル受信
- 白色: アラートシグナル送信

プッシュボタン機能

このユーザーガイドの例では、ベルトパックがデフォルトのUIに設定されていると想定されます: 2パート



トークボタンの機能: プッシュボタン1 + 2

- 短押し: 瞬時に押すとトークが再び無効になるまでトークが可能になります (ラッチング)。
- 長押し: ボタンが押されている間トークします。

トーク/アラートボタンの機能: プッシュボタン3 + 4

- 短押し: コール信号送信
- 長押し: アラート信号送信 (4秒)

拡張ビューと機能

エンコーダの1つをクリックして保持すると、情報画面が表示され、拡張ビューへの特別なアクセスが可能になります。バッテリーの状態/アンテナ信号の状態/ステータス/ベルトパックのために選択されたユーザーを表示します

プッシュボタン4をクリックすることで、拡張ビューを選択できるようになります。

「Extended」を選択すると、残りの32チャンネルが表示されます。機能は次のとおりです:

- エンコーダ: スクロール - プッシュボタン1: トーク - プッシュボタン2: コール/アラート
- プッシュボタン3: 選択 (音量設定、プッシュボタン、エンコーダを使用して上下にスクロール)
- プッシュボタン4: 拡張ビューを終了します。

UI変更

このユーザーガイドでは、デフォルトのUIを使用していることを前提とし、2つの部分から構成されていますが、UIレイアウトを変更することは可能です。

UIを変更すると、利用可能な機能やその機能の場所が変わります。

UIを変更するには、セットアップメニューに入り、デバイスオプションまでスクロールして「Enter」をクリックします。UIまでスクロールし、「Enter」をクリックします。

さまざまなUIがあります:

- UI: 2パート: 表示: 2チャンネル - プッシュボタン1 + 2: トーク - プッシュボタン3 + 4: コール/アラート
- UI: 3パート: ディスプレイ: 3チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3: トーク - プッシュボタン4: 拡張ビュー/コール/アラート
- UI: 4パート: ディスプレイ: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4: トーク
- UI: ダイレクト2: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4: トーク/セレクト
- UI: トグル2: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 3 + 4: トーク/セレクト - プッシュボタン2: チャンネル1と2を切り替えます
- UI: トグル2inv: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3: トーク/セレクト - プッシュボタン4: チャンネル1 + 2を切り替えます
- UI: - なし: ディスプレイはオフになりますが、プッシュボタンの機能はUIの場合と同じになります: 2パート

ローミング

アンテナへの接続が失われた場合、ベルトパックは新しいアンテナを探して数秒後に自動的に再接続します。最小レベルの信号品質の設定は、ベルトパック setup menu/connection/roaming で設定できます。

1-5のレベルを設定することができます。そのレベルを下回ると、Belt-Packは登録されているアンテナとのより良い接続をローミング（検索）し始めます。

これは、ベルトパックの電源スイッチを瞬時に押し、手動で行うこともできます。

これを行うには、ベルトパックの setup menu/connection/Forced reconnect で「Forced reconnect」を有効にする必要があります。

スタンドアロンモード

最大4つのベルトパックを1つのアンテナにペアリングし、usb Miniコネクタを介してアンテナに電力を供給すると、小さなスタンドアロンセットアップを作成できます。

このセットアップは、ワイヤレスベルトパック間で利用可能なすべての通常の機能で動作します。

スタンドアロンモードでは、他のネットワークデバイスが表示されないため、ステータスLEDが緑色/赤色に点滅します。

ボリューム調整

デフォルトでは、2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。左手と右手の操作が可能です。

エンコーダーの1つをスクロールするときに押しボタン1-4を同時にクリックすると、押されているボタンが制御するチャンネルの音量が調整されます。

個々のチャンネルの音量は、Setupメニューでも設定できます。

設定値は、MUTE、-36dB、12dB、0dB（デフォルト）です。

これを行うには、Setupメニューに入り、「Channel Assignment」にスクロールし「Enter」をクリックし、希望のチャンネルにスクロールして「Enter」をクリックし、ボリュームにスクロールして「Enter」をクリックします。

エンコーダーをクリックしている間、トークまたはセレクトをクリックすると、チャンネルがミュート/ミュート解除されます。

エンコーダーに新機能をアサイン

2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。

ただし、エンコーダーには新しい機能を割り当てることができます。

これらの機能には、None、Side Tone、Program Volume、Main Volumeがあります。セットアップメニューに入り、「Device Options」にスクロールし、「Enter」をクリックします。新しい機能をアサインするエンコーダーにスクロールします。

「Enc <」 or 「Enc >」のいずれかを選択し、「Enter」をクリックして、目的の機能までスクロールし、もう一度「Enter」をクリックします。

ベルトパックをデフォルトに戻す

セットアップメニューに入で、「Info」にスクロールし、「Enter」をクリックします。「Reset All Settings」までスクロールして[Enter]をクリックします。

確認するには「Yes Reset」をクリックしてください。

ファームウェア更新

ファームウェアはイーサネットまたはmini USB経由でアップロードできます。

最新のファームウェアはwww.GreenGoDigital.comにあります。

最新のファームウェアとGreen Go Control and Connectionソフトウェアをダウンロードしてください。

- ソフトウェアを起動する

- スキャンをクリックして、ネットワーク上のアンテナを検索します

- 次に、アンテナまたは複数のアンテナを選択し、更新をクリックします。

これにより、ファイル選択ウィンドウが開き、デバイスのファームウェアを選択して「Open」をクリックすると、ファームウェアの更新が開始されます。

アップデートが成功すると、デバイスは再起動します。

リファレンス

アラート

1人のユーザーから別のユーザーまたはグループにオーディオとビジュアルアラートが送信されます。UI設定に応じて、(ユーザー/グループ)にコールボタンを長押しして、チャンネルに警告信号を送ることができます。選択されたチャンネル(ユーザー/グループ)でビジュアルアラート(赤い点滅)とブザー音が鳴ります。

アナウンス

どのグループもアナウンスチャンネルに配置できます。アナウンスチャンネルはリスンのみです。チャンネルのすべてのアクティビティは優先順位に従って処理されます。アナウンスはハイプライオリティより優先度が高くなりますが、緊急時にはミュートされます。

アンサー

呼び出しに対する応答です。ユーザは、応答中にエンコーダをクリック+ホールドすることで、通話に応答することを選択できます。

ブザー

ブザーはユニット内のスピーカーです。アラートを受信するとブザーが鳴ります。ブザーをオンにすることができます。セットアップメニューの「オン/オフ」:「Options/Buzzer」で行います。

コール

ユーザーとグループ間で会話リクエストを送信します。UI設定に応じて、目的のチャンネル(ユーザ/グループ)のコールボタンを短く押しコールします。発信と受信は、個々のチャンネルに対して有効または無効にすることができます。

チャンネル

チャンネルは、特定のユーザーまたはグループに予約された「回線」です。1つのユニットで32チャンネルを使用できます。各チャンネルには、ユーザーまたはグループがアサインされます。通信するユーザーとグループを選択し、それらをチャンネルにアサインします。最速のアクセスを行うには、ユーザーとグループを若いチャンネル番号からアサインします。

チャンネルアサイン

ハードウェアインターフェイス(ボタンとエンコーダ)を使用して特定のユーザーまたはグループにアクセスするには、それらを32のチャンネルの1つにアサインする必要があります。これはセットアップメニューの「Channel Assignment」で行います。

チャンネルID

グループまたはチャンネルの名前を設定します。

コンフィグファイル/Config File

コンフィグファイルは、システムセットアップに関する情報を含むファイルです。どのユーザーとグループが利用可能で、どのルールがコミュニケーションに適しているかなどを含みます。ユニットが通信できるようにするには、GreenGoシステムのすべてのユニットで設定ファイルを同じにする必要があります。工場出荷時の設定ファイルはすべてのユニットで利用できますが、コンフィグファイルはGreen Go Controlソフトウェアで作成できます。コンフィグファイルは、そのファイルを含む他のユニットからも複製できます。1つのユニットには1つのコンフィグファイルしかロードできません。

キュー

キューは、MCDXやMCXなどのマルチチャンネルのステーションから送信できます。キューはユーザーまたはグループに送信できます。

ダイレクトGOキューまたはStandby/Attention Cue + GOキューのいずれかとして送信できます。

後者として送信された場合、キューは受信者のディスプレイに「Attention」メッセージとして表示されます。

受信者は、キューの受信を知ることができ、GOキューを送ることができます。

キュー受信の承認は、いずれかに設定することができます。Normal: 手動確認、Auto answer: 自動応答または、Ignore: 応答なし。

リファレンス

ダイレクトチャンネル/ダイレクトコール

ダイレクトチャンネルは、受信者が32の利用可能なチャンネルのうちの未アサインの1つのユーザーからのコールを受信するためのチャンネルです。これらのコールはダイレクトコールと呼ばれます。これは、ユーザー間の通信でのみ使用できます。

エマージェンシー

どのグループも緊急チャンネルに設定可能です。緊急チャンネルはリスンのみです。Green Goシステムでは緊急事態が最優先され、他のすべてのチャンネルがミュートされます。

強制再接続

ベルトパックをアンテナから切り離し、使用可能な最良の信号に再接続することができます。この機能は、セットアップメニューの「Forced Reconnect」で有効または無効にすることができます。強制的に再接続するには、ベルトパックの後部にあるスライダを瞬時にスライドさせます。

グループ

ユーザーのグループ。ユーザーは、1つ以上のグループに含めることができます。サウンドクルー、ライティングクルー、ステージクルーなどのグループ設定ができます。グループのすべてのメンバーと同時に通信することができます。

アイソレート

分離がONに設定されていて、チャンネルでトークを有効にすると、トークがアクティブである限り、他のすべてのチャンネルがミュートされます。

ラッチ

トークボタンを押し続ける必要がなく、一度のトークボタンで会話を有効または、無効にします。

モメンタリー

トークを有効にしたい間、ボタンを押してください。

リッストーク

「Listen on Talk」がオンの場合、ミュートされたチャンネルで話すと、応答が聞こえるように一時的にチャンネルのミュートを解除します。

ペアリング

ワイヤレスベルトパックは、アンテナと組み合わせる必要があります。ベルトパックは最大4本のアンテナのペアリングを登録されます。アンテナは一度に4つのベルトパックに対応できますが、最大6つのベルトパックを記録することができます。

PoE

PoE (Power Over Ethernet)。ユニットへの電力は、イーサネットケーブルを介してPoEスイッチから供給されます。これはアンテナ、デスクステーション、有線のベルトパックなどです。

ポップアップ

ポップアップは、キューまたはダイレクトコールを受信したときに発生します。ポップアップの動作はセットアップメニューで設定できます：「Options / Popup」

プライオリティ

優先順位は、各チャンネルごとに設定することができます。より高い優先度のチャンネルは、より低い優先度のチャンネルを書き換えます。

レベルは：低、正常、高、アナウンス、緊急です。

より高い優先順位のチャンネルがアクティブになると、優先順位の低いチャンネルは、「Options / PriorityDim」の設定メニューに従って淡色表示になります。例外はEmergencyで、他のすべてのチャンネルをミュートします。

リファレンス

プログラムオーディオ

ベルトパックのバックラウンドサウンド：DeskstationやInterface Xからのユーザ、グループ、またはアナログオーディオ入力に使用できます。

ローミング

アンテナ信号が弱くなると、ベルトパックは他のペアのアンテナからより良い信号を探し始めます。これはローミングと呼ばれます。ベルトパックは最大4本のアンテナを登録できます。ペアリングを参照してください。ベルトパックがローミングを開始する信号強度のレベルを設定することができます。セットアップメニューの「Connection/Roaming」で行います。強制的にベルトパックをアンテナからの接続を外し、使用可能な最良の信号に再接続することもできます。この機能は、セットアップメニューで有効または無効にすることができます。「Forced Reconnect」強制的に再接続するには、ベルトパックの背面にあるスライダを瞬時に横に動かします。

ユーザー設定

ベルトパックやその他のステーションを使用するときは、使用するユーザープロファイルを選択できます。ユーザープロファイルはコンフィグファイルに設定されています。Factory Default Configurationファイルでは、Stagemanager、FOH、Monitor、Directorなどのようなユーザーを見つけることができます。最適なものを選択してください。

SideT

Side Toneはユーザー自身の声の返りです。自分のスピーカー/ヘッドセットに自分の声の大きさを設定することができます。これはセットアップメニュー、Audio settings/SideTで行うことができます。

トーク

マイク音声をアサインされたチャンネルに送信します。目的のチャンネル（User/Group）のTalk押しボタンを押してください。

スレッシュホールド

スレッシュホールドは、マイクがピックアップする音声/ノイズを避けるべき最大レベルです。ユーザーは個々の音声レベルを持ち、マイクの位置を個別に決める方法と、マイク毎に異なる感度を持っています。不要な音声を送信されるのを防ぐには、必要に応じてスレッシュホールドを設定します。

トーン

オーディオ信号のレベル。アラート、キュー、接続ステータス、バッテリーステータスに使用されます。音量はセットアップメニューで設定できます：「Options / Tone」

UI

ユーザーインターフェイス - UIはディスプレイのレイアウトです。さまざまなレイアウトが用意されています。これらはセットアップメニューにあります。レイアウトが変わると、ボタンの機能も変わります。

ユーザー

インターカムを使用するすべてのユーザーです。ユーザーはグループに参加できます。カスタムユーザーとグループは、Green Go Controlソフトウェアで作成できます。作成されると、ユーザーは名前付きプロファイルを取得し、自動的に設定ファイルに保存されます（詳細はコンフィグファイルを参照）。ユーザーは、任意のデバイスにロードすることができ、同時に複数のデバイスにロードすることができます。

設定方法

以下では、セットアップメニューを紹介しします。お探しの項目や、セットアップメニューのリストです。

セッション

Program In: このセッションでは、Program Audio Channel Assignmentのパラメーターを設定できます。

Channel Assignment: 利用できるチャンネルは32です。チャンネルにグループとユーザーをアサインすることができます。

Audio Settings: マイクのオーディオオプションを設定できます。

Options: 一般的なオプション設定ができます。

Set User: ベルトパックに使用するユーザープロフィールを選択します。

Clone Config: 別のGreen Goデバイスからコンフィグレーションファイルをクローン化するか、または工場出荷時のデフォルト設定をロードします。

Connection: ベルトパックをアンテナ接続を設定します。

Device Options: お使いのデバイスのUI設定と警告を設定します。

Info: ベルトパックについての情報、設定をリセットします。

設定方法

Exit //Leave menu

Program IN

Exit //Go back

Src: _____

Select Program Audiosource: external audio source - Program audio - Mixer out etc.

Vol: デフォルト: 0dB - 範囲: + 12dB - -36dB - およびミュート//プログラムの音量を設定します。

Dim: デフォルト: - 6dB - 範囲: 0~-24dBとMUTE //通信中のオーディオディム音量をプログラムします。

Channel Assignment

Exit//Go back

1 - 32//ユーザーまたはグループをアサインするチャンネルを選択します。

Exit //Go back

ID: 258//チャンネルにアサインされたユーザーまたはグループのIDです。

Exit //Go Back

Group //チャンネルにグループをアサインします。

User//チャンネルにユーザーをアサインします。

None//チャンネルからアサインを削除します。

Set Label//チャンネルに異なるラベルを設定します。

Group//グループラベルを選択します。

User//ユーザーラベルを選択します。

Clear//ラベルセットをクリアします。

Talk: Latch/Momentary//トークの状態を選択します。

Latch/Momentary //短押し: Latch - 長押し: Momentary

Latch//トークボタンを押すと会話可能です - 2回押すと発言が無効になります。

Momentary//トークボタンを押し続けて会話を続けます。

Disabled//このチャンネルでの会話はできません。

Listen On:

Listen On //チャンネルのリッスンを有効にします。

Listen Off //ディスプレイにはまだトークが示されますが、信号はOffになります。

Volume: //チャンネルの音量を設定します。

デフォルト0dB - 範囲: ミュート、-36dB~12dB

Normal Priority//チャンネルの優先度を設定します。「Options / Priority dim」も参照してください。

高優先度、通常優先度、低優先度

Call Send Enabled //コールをチャンネルに送信する機能を有効または無効にします。

コール送信有効/コール送信無効

Call Receive Enabled //チャンネルからのコールを受信する機能を有効または無効にします。

コール受信有効/コール受信無効

An: アナウンスチャンネルとしてグループをアサインします。Priority and Announceを参照してください。

Em: Emergency Channelとしてエマージェンシーをアサインします。Priority and Emergencyを参照してください。

設定方法

Audio Settings

- Exit//Go back
Load Profile//Load an audio profile stored in the configuration file コンフィグファイルにオーディオ設定をロードします。
Exit//Go Back
- SideT: サイドトーン//自身の声の返りを設定します。
デフォルト: 0dB - 範囲: ミュート ~ -0dB
- Auto: //ディストーションを防ぐためにダイナミックを設定します。
デフォルト: ミディアム - 範囲: スロー ~ Off
「Off」設定は最大ゲインは無効です。
- MaxG: 最大ゲイン//入力、マイク信号の最大ゲインを設定します。
デフォルト: 50dB - 範囲: -60dB ~ -30dB
- Thld: スレッシュホールド//送信されるインプット、マイク信号レベルを設定します。
デフォルト: -35dB - 範囲: -20dB ~ -Off
「Off」設定時はトーク時マイク、入力信号が送信されます。
スレッシュホールドが高すぎると、インプット、マイクシグナルが散発的になります。
- Hold: //スレッシュホールド設定時のゲートが開く時間を設定します。
デフォルト: ファースト - 範囲: Xロング ~ ファースト
- Bias: //電子マイク使用時Biasは電源供給が必要です。
デフォルト: Off - 範囲: On ~ Off
- In: オーディオ入力ソース//ベルトパックオーディオソースを選択します。
デフォルト: ヘッドセット - 範囲: 4kHz ~ 125Hz - ヘッドセット

Options

- Exit//Go Back
- Active Time: //最後のオーディオアクティビティ後にチャンネルをアクティブにする時間を秒単位で設定します。
デフォルト: 4.0s 範囲: 45.0s - 0.5s
- Isolate: //チャンネル上でトークを有効にすると、他のすべてのチャンネルがミュートされるか、ミュートされません。
デフォルト: オフ、範囲: オン - オフ
- Buzzer: //アラートを受信したときに鳴るブザー音を有効または無効にします。
デフォルト: オフ、範囲: オン - オフ
- Tone: //アラート、キュー、接続ステータス、およびバッテリーステータスに使用されるオーディオ信号のレベル。
デフォルト: -12dBレンジ: 最大、-1dB - -48dB、ミュート
- No Listen on Talk: //チャンネル上でトークを有効にすると、ミュートされたチャンネルを一時的にミュート解除することができます。
デフォルト: No Listen on Talk、範囲: No Listen - Listen on talk.
- Answer Enabled: //コール応答を有効または無効にします。
デフォルト: 応答有効、範囲: 応答有効 - 応答なし
- Popup All: //Popup状態を選択します。
Popup All//すべてのポップアップが表示されます。
Popup Cue+Direct//キュー信号のポップアップとダイレクトトークのみです。
Popup Cue//キュー信号のみのポップアップ
No Popup//Popupなし
- Priority Dim: //優先度の高いチャンネルがアクティブになる場合、優先度の低いチャンネルのディミングレベルを設定します。
デフォルト: -6dB、レンジ: 0dB ~ -24dB、ミュート
- Direct Priority: //ダイレクトチャンネルのプライオリティを設定します。
デフォルト: ノーマル 範囲: ハイ - ロー
- Direct Volume: //直接チャンネルの音量を設定します。
デフォルト: 12dB、レンジ: 12dB - -36dB、ミュート
- Cue Mode: //キュー信号でレスポンスを設定します。
デフォルト: ノーマル
範囲: 無視//何もしない
自動応答//送信者に「cue received」確認を自動的に送信します。
通常//ユーザーが確認や返信を要求します。

設定方法

Set User : //ベルトパックに使用するユーザを選択します。
 Cancel//Go Back
 「User A - Z」

Clone Config //ネットワークから設定ファイルをクローンしたり、工場出荷時のデフォルトをロードします。
 Cancel//Go Back
 「コンフィグファイルA-Z」
 工場出荷時のデフォルト

Connection : //使用するアンテナを選択し、それらを切り替える設定します。
 Exit // Go Back
 A 1 : 02-E1-36-F4-30 //選択したアンテナのMACアドレス
 Exit //戻ります
 Name : 02-E1-36-F4-30 //アンテナ名
 ID : 02-02-E1-36-F4 //アンテナID
 アンテナの削除//アンテナとのペアリングのクリア

A2 : - 空白
 Exit//Go Back
 No Antenna //スロットが空であることを示します。
 Start Pairing //ペアリングモードに設定されたアンテナとベルトパックをペアリングします。

A3 - A4 : 同じです。

Roamng : //より良いアンテナ信号のためにベルトパックがローミングを開始するレベルを設定します。
 デフォルト : オフ 範囲 : 5 (若干の信号不足) - 1 (非常に悪い信号)、オフ

Disabled Force Reconnect : //ユーザーが検索を強制し、より良いアンテナ信号に再接続させます。
 デフォルト : 強制再接続無効 範囲 : 強制再接続無効 - 強制再接続有効

Setup Country : //周波数帯域を変更する領域を選択します。
 Exit /Go Back
 ヨーロッパ
 米国
 日本

Device Options

Exit//Go Back

UI: 2-part//ベルトパックに使用するユーザを選択します。
 - //表示オフ - ボタンは2パートとして動作します。
 2-Part //2つの最初のチャンネルを表示します。

Button 1: Talk Ch 1	Button 3: Call Ch 1
Button 2: Talk Ch 2	Button 4: Call Ch 2

3-Part //3つの最初のチャンネルを表示します。

Button 1: Talk Ch 1	Button 3: Talk Ch 3
Button 2: Talk Ch 2	Button 4: Go to Ch 4 - 32

4-Part //4つの最初のチャンネルを表示します。一回押して選択します。2回目でトークになります。

Button 1: Talk Ch 1	Button 3: Talk Ch 3
Button 2: Talk Ch 2	Button 4: Talk Ch 4

Direct 2 //4つの最初のチャンネルを表示します。一回押して選択します。

Button 1: Select Ch 3/Talk Ch 3	Button 3: Select Ch 4/Talk Ch 4
Button 2: Select Ch 1/Talk Ch 1	Button 4: Select Ch 2/Talk Ch 2

Toggle 2 //4つの最初のチャンネルを表示します。

Button 1: Select Ch 3	Button 3: Select Ch 4
Button 2: Toggle C 1 and 2	Button 4: Talk button

Toggle 2inv //4つの最初のチャンネルを表示します。

Button 1: Select Ch 3	Button 3: Select Ch 4
Button 2: Talk button	Button 4: Toggle Ch 1 and 2

設定方法

Device Options

Flip: //表示項目の一部または全部を上下フリップする場合に選択します。

デフォルト：オフ

範囲：

Both//フリップメニューとメイン画面

Menu //このメニューのみをフリップします。

Main //メイン画面のみをフリップします。

オフ//フリップしません。

Enc <: //左のエンコーダのスクロール機能を選択します。

デフォルト：メインボリューム

範囲：

- //エンコーダのスクロールには機能がありません

Side Tone //エンコーダーのスクロールでサイドトーンの音量が調節されます。

Program Volume /エンコーダースクロールでプログラムボリュームを調整します。

Main Volume //エンコーダースクロールでメインボリュームを調整します。

Enc >: //右のエンコーダースクロールの機能を選択します。

デフォルト：メインボリューム

範囲：

- //エンコーダのスクロールには機能がありません

Side Tone //エンコーダーのスクロールでサイドトーンの音量が調節されます。

Program Volume /エンコーダースクロールでプログラムボリュームを調整します。

Main Volume //エンコーダースクロールでメインボリュームを調整します。

Batt Low // 「Battery Low」警告を有効または無効にする - 警告が表示され、アレーとが1秒間鳴ります。

電源が低下するにつれて、警告間隔が短くなります。

デフォルト：ON

範囲：ON - オフ

Bad Signal: //警告する信号品質アラート信号を設定します。

デフォルト：オフ

範囲：5 (若干の信号不足) - 1 (非常に悪い信号)、オフ

LED bright: //4つのインジケータLEDの輝度を設定します。

デフォルト：4

範囲：最大、6 - 1、オフ

Scr Saver: //最後のアクティビティの後にディスプレイがオフになるまでの時間を設定します。

デフォルト：10分

範囲：2時間、1時間、30分、10分、1分、30秒、10秒、常にオン

Info

//ベルトパックに関する情報を表示します。

--

02-E1-36-EE-60//MACアドレスのユニット

SN: 778//ユニットのシリアル番号

Wireless 4a45

Submenu: Firmware

Wireless 4a45 //ファームウェアバージョン

Dec 7 2016 //ファームウェア設定の日付

11:34:57 //ファームウェア設定の時間

Reset All Settings //すべてのIP、オーディオ、ユーザー、およびチャンネルの設定をリセットします。

ペアリングは影響を受けません。コンフィグファイルは変更されません。

トラブルシューティング

ベルトパックに信号がないか、信号レベルが低い

- アンテナとのペアリングを確認してください。
- あなたが範囲内にあることを確認してください（最大300メートルの視界を確保してください）
- アンテナが垂直に配置されていることを確認してください。

アンテナが信号を送信していません

- LEDが赤と緑で点滅していないことを確認してください。
- システムに他のデバイスがないこと、またはアンテナがネットワーク構成に設定されていないことを意味します。

他のユニットと通信することができません

- すべてのユニットで同じ設定ファイルを使用していることを確認してください。
- setup menu/clone configに行き、複数の設定が利用可能かどうかを確認してください。

システムにエコーがあります

- スピーカーの近くにマイクがあるかどうかを確認します。

ベルトパックを複数のアンテナに無線でペアリングしようとしていますが、最初のものにしか接続しません

- エアペアリングで作業するときは、ベルトパックが別のアンテナに接続されていないことを確認してください。他のアンテナのスイッチがペアリングされています。

ベルトパックが、アンテナまたはベルトパックが非常に接近しているとき、アンテナとの接触を失います。

- 2つのRF（電波周波数）デバイスを相互に隣接させると、RFの動作に影響を与える可能性があります。少なくとも1メートル離してください。

仕様

Physical:

寸法:	145mm x85mm x30mm
重量:	400g
接続:	1x Neutrik XLR 4 pin, 1x miniUSB
金具:	ベルトクリップ
電源:	1800mAh リチウム充電電池 (6-7時間使用可能)

Connector Pin : HEADSET



- Pin 1: MIC Ground
- Pin 2: MIC Signal
- Pin 3: Speaker -
- Pin 4: Speaker +

仕様

Wireless:

範囲: 50-300m 環境によります。

DECT: DECT準拠方式

RF: RF range: 1870 MHz to 1930 MHz

受信感度: < -93 dBm

トランスミッター: JP: 23 dBm: 1895 MHz - 1903 MHz

ディレイ: Wired: 12msec、Wireless: 26msec

消費電力: 32mA@1.8W

オーディオ仕様:

MCX (D)、BPX有線ベルトパック、WBPX ワイヤレスベルトパックをWAAアンテナ経由で測定出力ヘッドセット、音量0 dB

RMS値 22Hz~22kHz 負荷なし

デジタルオーディオフォーマット: リニア16ビット16/32 kHzサンプルレート (標準/拡張オーディオ)

ワイヤレスリンク: G722ワイドバンドコーデックによるDECT

Input	Headset mic	Panel mic	Line
Connector	XLR4M pin 1-2	XLR 3F	XLR 3F
Type	unbalanced	balanced	balanced
Electret mic bias / Phantom power	0/ +2,5	0/+10V	
Gain	+30 - +70dB	+24 - +64dB	-9 - +31dB
Limit-level AGC	-12dBFS = +2dBu		
Gate Threshold	Off, -45dB - -20dB 5dB steps		
Sidetone level	Mute, -24dB - 0dB 3dB steps		
All wired units			
Noise	-70 - -55dBu	-75 - -55dBu	-75 - -55dBu
Latency mic-network - headphone	12 msec	12 msec	12 msec
Wireless beltpack			
Noise	-63 - -52dBu		
Latency mic-network - headphone	26 msec		
Frequency response standard	240 - 7000 Hz	200 - 7000 Hz	140 - 7000 Hz
Frequency response enhanced	240 - 14000 Hz	200 - 14000 Hz	140 - 14000 Hz
Enhanced only on wired units channels			
Output	Headset	Internal speaker	Line
	All units	MCD/WP	MCD/WP
Connector	XLR4M pin 3-4		XLR 3M
Nominal level	0 dBu		0 dBu
Max output	+20 dBu	>2W	+12 dBu
Load	32 - 600 Ohm	>8 Ohm	o/p imp 240 Ohm

Green-GO is designed and manufactured in the Netherlands by ELC Lighting
Worldwide sales: Anima Lighting, Le Bouveret, CP 46, CH-1895 Vionnaz